

とるな協社

社会福祉協議会広報誌 臨時増刊号

発行／社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜30番地の9
老人福祉センター2F
TEL:088-685-7170 FAX:088-686-4059

「市民会議立ち上がる」

幸せな街づくりをめざして



社会福祉法人

鳴門市社会福祉協議会

会長 多智花 亨

市民の皆さま、あけましておめでとうございます。平成29年の年頭にあたり、市民の皆さまのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

さて、昨年12月10日に、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定に向けた「市民会議」が立ち上がりました。これから鳴門市と一体となつてこの計画を策定することは、21世紀の新たな時代に対応し、地域に寄り添った地域づくりができるのではないかと考えております。今後始まる計画作りには、徳島大学大学院医歯薬学研究部教授の白山靖彦先生、同講師の柳沢志津子

先生が指導にあたっていたけるとのことです。市民会議結団式後の講演で、白山先生から、『地域づくりを、つくる』をテーマに住民が主体となった計画づくりが重要とお話がありました。まさに社会福祉協議会が究極の目標としなければならぬものとあらためて感じました。今年、鳴門市社会福祉協議会にとつて、勝負の年であり、また飛躍の年にしなければならぬと考えております。そのような決意のもと、このたび新春にあわせて、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」作りに向けた臨時増刊号（特集）をお届けいたします。

市民の皆さまには、ぜひこの「地域福祉計画・地域福祉活動計画」作りに多数参加していただき、ともに「鳴門に住んでいてよかった、幸せだ」と実感してもらえよう職員一同全力で努力してまいりますので、ご協力を心よりお願いし、年頭のご挨拶といたします。



市民会議結団式後、全員で記念撮影
11月10日、うすしお会館

主 内 容

▶「市民会議立ち上がる」～幸せな街づくりをめざして
社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会会長 多智花 亨

▶鳴門市地域福祉計画等策定市民会議結団式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・②

▶「なぜ、地域福祉計画・活動計画を作るの？」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・③

▶計画策定に向けた今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・④

地域福祉計画地域福祉活動計画がスタート 12月10日、市民会議結団式で本格始動



挨拶する、泉理彦市長

平成28年12月10日(日)、うずしお会館において、鳴門市地域福祉等策定市民会議の結団式が開催されました。結団式あたり、鳴門市の泉理彦市長より、「市民会議一丸となって、鳴門市民が幸せな暮らしをおくれるように計画作りを行ってほしい」との挨拶がありました。続いて、実際に計画作りを担う市民委員、鳴門市関係各課職員、鳴門市社協職員が紹介されました。

この後、計画策定の過程において、ご指導いただく、徳島大学大学院医歯薬学研究部教授の白山靖彦先生の講演が行われ、次いで同大学講師の柳沢志津子先生より、市民会議の進め方について説明があり、最後に全員が記念撮影をして無事結団式を終えました。



徳島大学・白山教授が講演「地域づくり、をつくる in Naruto」

【白山教授講演要旨】

本日、鳴門市地域福祉計画および鳴門市地域福祉活動計画策定のためにお集り頂きました約95名の市民会議の皆様、いよいよ計画の策定づくりが始まります。鳴門市全人口約5万9千人からすると95名という数はたった0.16%に過ぎません。しかし、「鳴門に生まれ、育ち、生き、働き、ほんとに良かったね」といえる街づくりのために、計画づくりを協働していけることが何よりも嬉しいと実感しています。「計画づくりは地域づくり」と言われるように、まさに「地域づくりを、つくる」ことが大切だと考えています。



「市民会議の進め方について」柳沢志津子講師

そこで「みんなで」ではなく、「みんなが」それぞれ知恵を出し考え、市民一人ひとりのことを大切にするとする理念を共有したいと思っています。その理念は名付けて「リ・クリエイト」です。2025年や2040年には超高齢化、人口減少、市町村数の激減など大きな問題を控えています。それをも乗り越えていける鳴門を再び創造していく、という願いが込められています。

策定のゴールはもう少し先になりますが、徳島大学、鳴門市そして鳴門市社会福祉協議会が全力で市民会議をサポートし、日本でも他に例をみない地域福祉計画、地域福祉活動計画づくりを目指していきましょう。

鳴門市 地域福祉計画 策定へ一丸 市民会議結団式

住民が主体となった「鳴門市地域福祉計画」の策定に向けた市民会議の結団式が10日、同市撫養町の市うずしお会館であり、会議の方針や進め方を確認した。

公募に応じた市民代表委員52人と、市社会福祉協議会や市の職員ら計93人が出席した。計画策定にアドバイザーとして加わる徳島大学大学院医歯薬学研究部の白山靖彦教授(脳科学)が「地域づくりを、つくる in Naruto」と題して講演。「人口減少に歯止めをかけるため、『住民が幸せに暮らせる街づくり』という計画の理念を共有し、委員全員で考えることが大切」と話した。

同研究部の柳沢志津子講師は計画策定までの過程を説明。市民参加の座談会を重ねる中で、地域に埋もれている問題を掘り起こしていくことが大切だと強調した。

次回は来年1月22日に開き、市社協職員と市民代表の研修を行う。来年中に計画案を取りまとめ、市長に答申する。(大城咲)

なぜ、地域福祉計画・活動計画を作るの？

鳴門市 地域福祉計画

福祉サービスを必要とする住民が、地域社会を構成する一員として主体的に日常生活を営むことができ、社会や経済、文化などさまざまな分野の活動に参加する機会をもてるようにするためには、地域住民や福祉活動団体、市民ボランティアなど地域に関わるすべての人たちと、行政や専門機関とが協働して、福祉サービスを必要としている人を支えていく地域福祉推進の仕組みづくりが求められます。

こうした仕組みをつくり、計画的に取り組みを進めていくために、鳴門市の実情に沿った「地域福祉計画」を、国の社会保障制度改革や市の個別計画と整合性を図りながら策定していきます。

この計画は、最終的に、「地域の助け合いによる福祉（地域福祉）」を推進するために、人と人とのつながりを基本として、「顔の見える関係づくり」、「ともに生きる社会づくり」を目指すための「理念」と「仕組みをつくる」計画となります。

鳴門市社会福祉協議会 地域福祉活動計画

地域福祉に対する必要性が多様化・複雑化してきているなかで、これまでの福祉制度だけではさまざまな課題に対応できなくなっています。これからは、公的な福祉制度だけに頼らず、地域の人たちによる支えあいを実現していくことが求められます。

社会福祉協議会は、“社会福祉法”において地域福祉を推進する中心的な団体として位置づけられており、これまで構築してきた関係諸団体と連携し、地域の方たちとともに計画策定をすることにより、より幅広くサービスを提供することができるようになります。

地域の方たちが主体的に活動することによって、きめ細かい支援や、潜在的ニーズを発掘することができます。地域福祉の基本は人と人とのつながりです。そこに関係団体とのネットワークを付加することによりさまざまな課題・ニーズに取り組んでいくことができます。

計画策定過程における研修・座談会

研修

公募で選ばれた市民委員、鳴門市関係各課職員・社協職員に分かれて計画策定に向けた研修を実施

座談会

13地区で座談会を開催予定。13地区とは、社会福祉協議会が鳴門市内を13の地区に分け、それぞれの地区を、地区社会福祉協議会として組織しています。この地区社協が計画作りの基本的な地区単位となります。日程が決まりますと、各地区の住民の方たちに幅広く座談会への参加を呼びかけますので、さまざまなご意見・ご提案をお聞かせください。

【座談会についてのお問い合わせ先】

▶鳴門市社会福祉協議会 Tel:088-685-7170

▶地区担当職員

木津神、中央、大麻地区：河野、橋本、近藤

斎田、黒崎、桑島地区：三木、大竹、齋藤

川東、里浦、大津地区：宮本、永楽、岩井

鳴門東、鳴門西、瀬戸、北灘地区：乾、前谷、増田

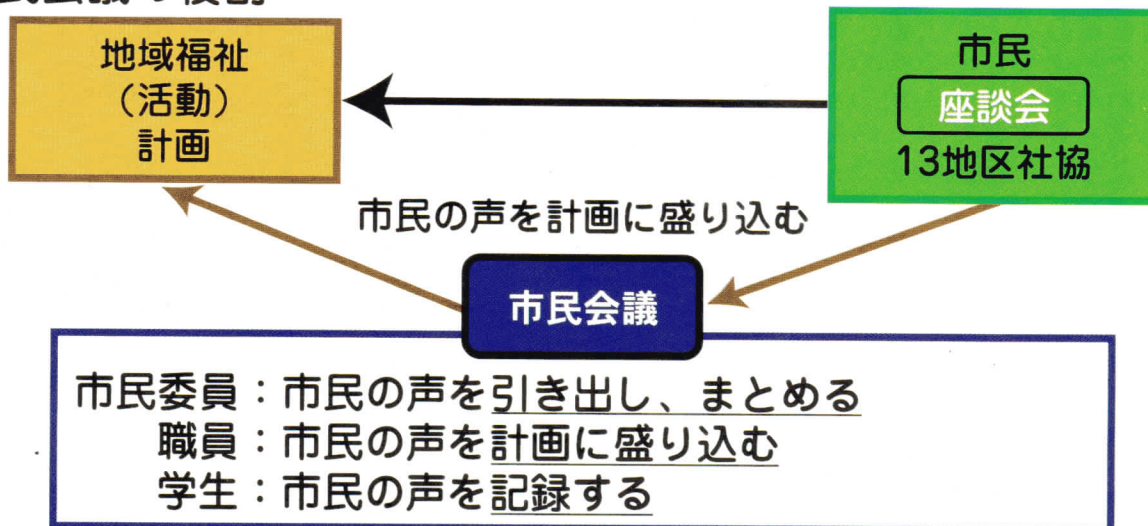
ヒアリング

住民活動実践者から、活動の課題を、福祉事業者から、鳴門の福祉課題についてお聞きします。

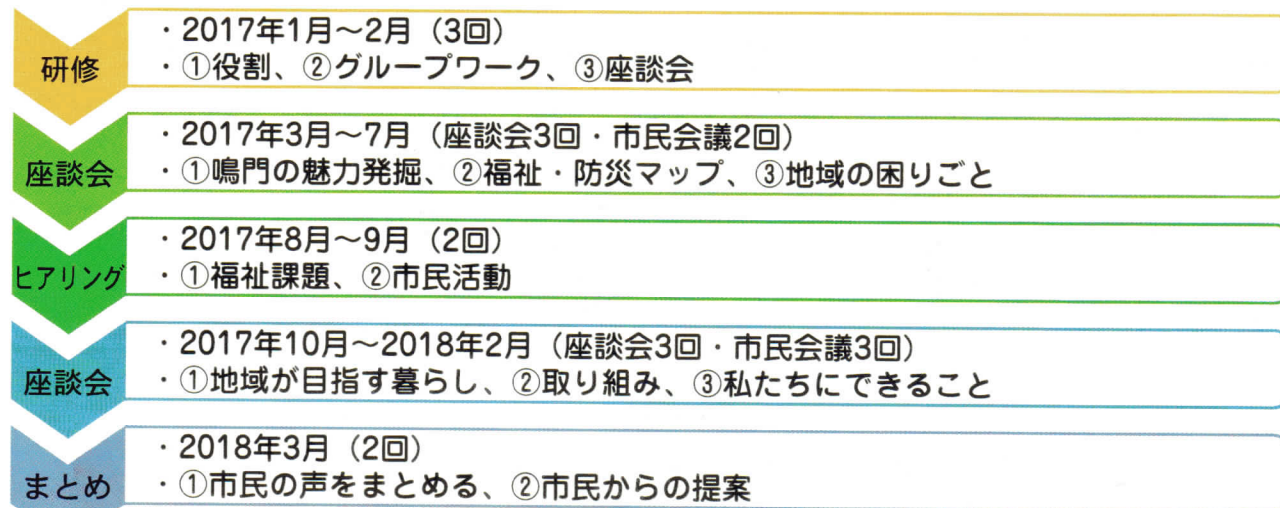
計画策定に向けての今後のスケジュール

市民会議結団式を受けて、本格的に地域福祉計画・地域福祉活動計画作りに向けて動き出します。これからどのような流れで計画を策定していくのかをまとめました。計画策定の過程では、幅広く地域の方たちに参加していただきたいと考えています。その際にはどうぞよろしくお願いいたします。

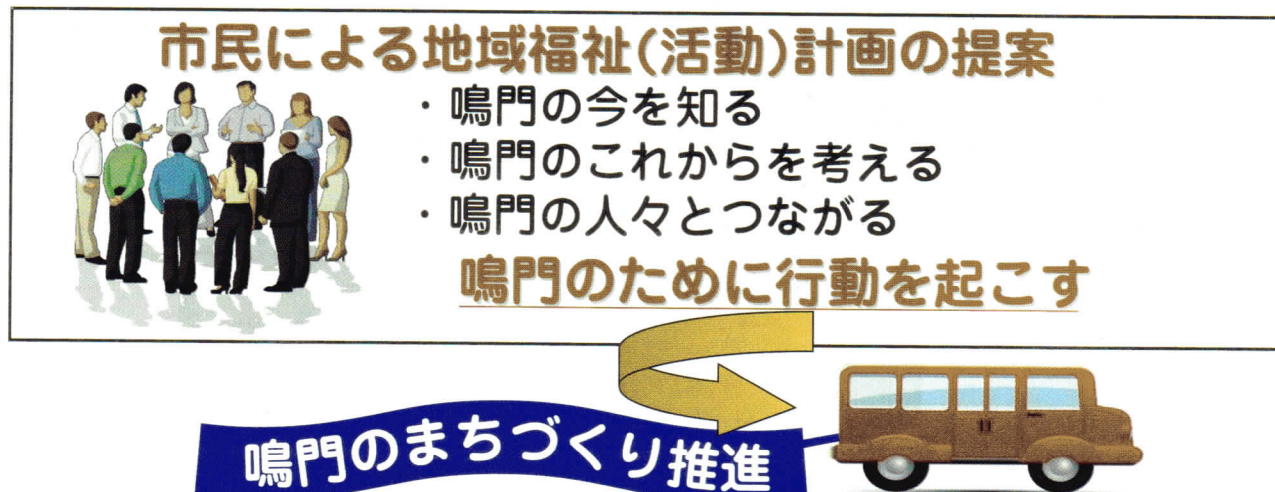
1. 市民会議の役割



2. 市民会議の予定



3. 市民会議の成果



作成：徳島大学大学院医歯薬学研究部講師 柳沢志津子先生